

## 会 議 概 要

日時：平成29年11月6日（月）午後2時30分

場所：石垣市役所（2階）第二会議室

### ■出席：

堤 純一郎	比嘉 健	藤田 和也	野崎 雅治（代理）
前盛 均	中島 政一	天久 朝仁	
我喜屋 伸将	鈴木 倫太郎	前濱 猛志	

### ■式次第

1. 委嘱状交付
2. 市長あいさつ
3. 正副委員長の選出
4. 委員長あいさつ
5. 諮問（石垣市長 中山 義隆）
6. 諮問事項について
  - （1）石垣市一般廃棄物処理基本計画の見直し
  - （2）石垣市一般廃棄物最終処分場の今後のあり方
7. 次回委員会日程

平成29年12月5日（火）午後2時30分～ 石垣市役所（2階）第二会議室

■正副委員長 委員長 堤 純一郎 副委員長 我喜屋 伸将

■諮問事項 (1) 石垣市一般廃棄物処理基本計画の見直し  
(2) 石垣市一般廃棄物最終処分場の今後のあり方

■配布資料 (1) 石垣市一般廃棄物処理基本計画の見直し

- ①一般廃棄物処理基本計画の概要
- ②一般廃棄物処理の現況
- ③将来ごみ量の見込み
- ④将来し尿・浄化槽汚泥処理量の見込み
- ⑤一般廃棄物処理基本計画（前期）に示した課題とその取組状況

(2) 石垣市一般廃棄物最終処分場の今後のあり方

- ①石垣市一般廃棄物最終処分場の今後のあり方

### ■オブザーバーの出席について

- ①NPO法人沖縄新事業支援機構 理事長 嘉数 博仁
- ②有限会社サキシマリサイクルプラザ 取締役 当銘 正則

発言者（敬称略）	発言内容
<p>委員長 午後2時45分</p>	<p>それでは、実務に入りたいと思います。会次第に沿って進行してまいりますが、その前に今回この委員会を立ち上げた目的、あるいは会の概要について事務局から説明をお願いします。</p>
<p>事務局</p>	<p>皆様こんにちは、環境課の内原と申します、よろしく申し上げます。改めて本委員会の目的を説明させていただきます。着席して説明させていただきます。</p> <p>先ほど市長からの諮問にもありましたが、平成24年度石垣市一般廃棄物処理基本計画を策定しましたが策定から5年が経過いたしまして、その間に本市を取り巻く社会経済状況は大きく変化しております。本市の一般廃棄物最終処分場の残余容量につきましても、平成28年3月末で約5年と逼迫している状況であります。</p> <p>そのため、これまでの計画運営や取り組みによる成果や課題を整理して、計画最終年度の平成34年度に向けて一般廃棄物処理事業を適正に推進するため、計画の見直しを行うとともに、併せて、一般廃棄物処理施設の今後のあり方について検討を行うというのが、本委員会の目的となります。全体として5回の委員会を予定しておりますので、委員の皆様の検討をよろしく申し上げます。以上が主な目的となります。</p>
<p>委員長</p>	<p>どうもありがとうございます。これを含めまして5回ということになります。今年度中ですので、忙しい話になりますが、お忙しい時間の中なんとかやりくりして、ご出席いただければと思います。どうぞよろしく申し上げます。これについては、特にご質問等はよろしいですね。</p> <p>それでは、次に進みます。諮問事項の(1)として、お手元の式次第にありますとおり、石垣市一般廃棄物処理基本計画の見直しということですが、資料の説明を事務局からお願いしたいと思います。</p> <p>なお、本日の委員会は、立ち上げといたしまして、先ほど市長から答申があったとおり、最終的には新しい方針を決めないといけません、本日の会の目的としては、現状認識をしていただいて、どんな方向性があるかを模索する第一歩として共通理解を深めるということで、現状を認識することで皆さんの共通の知識を揃えたいと思いますので、そのつもりでお聞きいただければと思います。では、事務局から資料の説明をお願いします。</p>
<p>事務局</p>	<p>事務局資料説明 &lt;資料1、資料2&gt;</p>
<p>委員長</p>	<p>どうもありがとうございました。資料1と2は現状の報告ですが、資料2の最後のほうに下水道処理、し尿処理の資料がついていますが、本委員会で中心的に議論するのは固形廃棄物になりますので、ある意味おまけと考えていただいて、</p>

発言者（敬称略）	発言内容
委員長	<p>主に固形廃棄物についてご質問、ご意見があれば承りたいと思います。</p> <p>・・・廃棄物処理を専門としている方は問題ないと思いますが、あまり廃棄物処理になれていない方には分からない部分があるかと思いますが、ひとつ触れておきたいのは、家庭ごみと呼んでいる部分は家庭系一般廃棄物と言われている部分です。一般廃棄物には家庭ごみの他に事業系ごみと呼ばれるものがあります。事業系の一般廃棄物は、よく産業廃棄物と間違えられますが、産業廃棄物ではありません。そこが難しいと言うか分かりにくい部分になりますが、一般廃棄物の中に、事業系と家庭系の両方が入ります。産業廃棄物と呼ばれるものは、品目や発生する業種が決まっております、それに従ったものだけが産業廃棄物と呼ばれるものになります。法律上の区分ができていますとご理解ください。一般廃棄物と呼ばれる物の処理責任は市町村が持っています。産業廃棄物は排出業者が責任を持たないといけません、管轄は沖縄県になります。今回は一般廃棄物の処分場の問題ですので、石垣市が責任を持たないといけません。分かりにくいかも知れませんが、状況をご理解の上、ご質問がありましたらよろしくお願ひします。</p> <p>・・・それでは、私のほうから質問をさせていただきます。1人1日あたりの排出量が、1,300グラムを超えるとと言うのはかなり多いですね。沖縄県内では800グラム代が多くなっていますが、1.3キロというのはどのような原因があるかお分かりになりますか。</p>
事務局	<p>沖縄本島ですと、市町村の設置する処理施設以外の民間の業者、例えば古紙類や金属類をごみとしてではなく、有価物として買い取ってくれる業者もありますので、各事業所からの産業廃棄物に当たらない種目の事業所や、一般の家庭もそうですが、民間の施設に持ち込みをする事例が多く見られます。</p> <p>石垣市の場合は、民間の業者もあまりなく、過去の経緯も含めて、石垣市の施設にごみが集まってくる流れになっていて、民間でそういった事業をやろうとした業者があったかもしれませんが、民間の業者が育ちにくいと言うか、石垣市の施設に集まってくる部分もあります。</p> <p>あくまで数値上の話ですが、ごみとして扱う量も依然として多くなってきている部分と、ごみ量に対して分母となる石垣市で把握している人口と石垣市に現住所を置かない方もいらっしゃると思いますので、そういった方々や観光客が出すごみも増えてきている部分もありますので、そういった排出されるごみ量に対する分母のバランスの悪さが1人1日あたりのごみの排出量が他市と比べて突出している原因であるのではないかと考えております。</p>
委員長	<p>どうもありがとうございます。これは、公共施設で受け入れたごみ量ということですね。</p>
事務局	<p>そうですね。全て環境省に報告している数値を基に作成していますので、一般</p>

発言者（敬称略）	発言内容
事務局	<p>廃棄物処理施設で受け入れたごみ量が基になっています。</p>
委員長	<p>難しい問題が含まれていますが、この中にはいわゆるリサイクルにまわるごみも入っているんですね。</p>
事務局	<p>はい、そうですね。リサイクルされていく再生ごみ量が増えているのも、入ってくるごみも増えていますので、その分リサイクルされているごみも増えているという影響を受けている部分もあるかと思います。</p>
委員長	<p>どうもありがとうございました。そういう事情で1人当たりの量が多いとなっております。資料2の20ページの図2.17で、市町村別の1人1日当たりのごみ量が出ておりますが、石垣市が突出して多いということではなく、リサイクルごみなどを一括して受け入れている恩納村や渡嘉敷村なども似たような傾向を示しております。少ないところは、リサイクルごみを一般処理する方向で受け入れずにリサイクルセンターという形で受けているので、初めから除外しているケースがありますので、例えば国頭村当たりから右側が少なくなっているという考え方でよろしいかと思います。ご質問ございませんでしょうか。よろしいですか。</p> <p>とりあえず、先に進めたいと思います。また、分からないところは戻って質問していただいて結構ですので、先に進みたいと思います。資料3、4について続けてご説明いただきたいと思います。</p>
事務局	<p>事務局資料説明 &lt;資料3、資料4&gt;</p>
委員長	<p>どうもありがとうございました。将来予測ということで、資料3が固形廃棄物、資料4が将来のし尿汚泥の予測になります。資料4はあまり気にされなくて結構ですけれども、それも含めてご質問があればよろしくお願いします。</p> <p>・・・少し私のほうからお聞きしておきたいことがあります。資料3では特に人口と1人当たりのごみ排出量から予測されていますが、1人当たりのごみの排出量には事業系も入りますか。</p> <p>事業系も入りますと、観光客数や先ほど説明のあった幽霊人口が石垣市の場合には約5,000人から多いときには10,000人ほど居るようですが、このような要因は含めなくてよろしいのでしょうか。</p>
事務局	<p>正確に把握できていないものでなかなか難しいです。</p>
委員長	<p>入域観光客数の統計等につきまして、コメントがありましたら。</p>
委員	<p>企画政策課の野崎と申します。企画政策課で総合計画の構想を担っております</p>

発言者（敬称略）	発言内容
委員	<p>て、今回の見直しに当たって、構想は 52,000 人ということで 23 年度からの計画がございます。今回地方創生の観点から、平成 28 年度には人口ビジョンと言うものを新たに作成しておりまして、その数字が 52,000 人という形になってはいますが、2025 年にはピークが来るということで、この計画の中では住民人口上は増えていきます。</p> <p>ただ、先ほどの幽霊人口については推定しか取れないというところで、水道の契約数や防災観点からの観光客実態からの推定の数字を調査したのがあるので、そこは参考として使えるかどうか確認しないとイケません。推定の件数では 5,000 人と記憶しております。</p>
委員長	<p>観光客数に対してはいかがでしょうか。</p>
委員	<p>観光客数に関しては、目標が 152 万人となっております。現時点では 131 万人でこれに 20 万人プラスということで、150 万人から先はどうなるのかという議論があります。150 万人を目標としますが、これを「質」に変えていきたいと思いますという計画になっておりまして、手元に資料がありませんが、1 人当たりの消費額を上げていきたいと思います政策展開として基本計画があります。</p>
事務局	<p>申し訳ありません、基本的なことではありますが追加で説明させていただきます。1 日 1 人当たりのごみの総排出量の中にある原単位で使っている数字の中に、施設に入ってくるごみがベースになっているということでしたが、施設に入ってくるごみの中でも事業所から出るごみですが、もやすごみも含めて、施設に入ってきて処理をしていますので、いわゆる 1 日 1 人当たりのごみ総排出量の中には、宿泊施設などから出るごみも入っている数値となります。</p> <p>割る分母は石垣市の人口になってはいますが、ごみの量については各施設が受け入れているごみの量となっています。一般家庭からのみ受け入れているわけではなくて、各事業者から出たごみも含めておりますので、そういったところで増加傾向を示していくだろうという数値になっております。</p>
委員長	<p>わかりました。私も先ほどから気になっていましたけれど、我喜屋さんは実際に一般ごみを運搬されている状況で、ホテル等から発生するごみが急激に増えているとか、そういう状況がありましたら教えていただけたらと思います。</p>
委員	<p>座ったままで失礼いたします。宿泊施設のごみの量ですが、確かに空港開港以降 3 年程前からかなり増えております。ただ、事務局からあったホテルはもちろんですが、飲食店からのごみも大分増えておりますので、それが分母との整合性が取れない理由になるかと思えます。</p> <p>申し訳ありません。質問を答えている中で、質問をさせていただいてよろしい</p>

発言者（敬称略）	発言内容
委員	<p>でしょうか。先ほど委員長からもあったように、分母との整合性を取るために入ってくるリサイクルごみを抜いたものを、ごみとして反映させるべきではないかなと思いました。これについてはどうでしょうか。</p>
事務局	<p>資料2の20ページになりますが、恩納村、渡嘉敷村も石垣市と同じように資源ごみを加えた数値で、あくまで一般廃棄物処理施設に入ってくるものをベースに考えております。石垣市と同じような状況の市町村もございますし、同じ離島市町村の宮古島市では数値がかなり下になりますが、宮古島市や那覇市等のようにごみとしてではなく有価物として取り扱いで施設に入っていない、もしくはリサイクルセンター等を設けている場合で、ルートを作っている場合と比べると現状に合わせた数値となってしまうかと思っております。石垣市の現状からあえて資源ごみを除くと現状と合わない数値になってしまうのかなと考えるところとなっております。</p>
委員	<p>ありがとうございます。だとしたら、僕から見て数字のマジックなのかなと。石垣市は沖縄県11市の中でダントツに高い数値で、それを新聞や広報誌にも出して、市民として受ける印象として石垣市は凄いごみが多いんだなという認識を持ってしまいますよね。その中でパーセンテージをちゃんと出さないと、5種分別を一生懸命してもらっていて、資源ごみとして出している割合がかなり高いと思います。数字で見ると20%となっていますが、個人的にもっと凄いリサイクル率があるのではないかなと思います。</p> <p>実際に、僕たちが最終処分場に持っていくごみ、クリーンセンターに持っていくごみは焼却ですが、最終処分場に持っていくごみの中で月に100トンあったとして、埋立てのごみは10トンしかないのではないかなという認識です。実際に見ているものと、数値が違うので、少しもやもやする部分があります。</p>
事務局	<p>はい、ありがとうございます。先ほどの数字のマジックによる部分と、というところはこれまでのごみの手数料改定の委員会などでも、そういったお話があったのも事実ですので、数値を変えることは難しいと思いますが、割合については何か違う表現で、もう少し数値として市民に対して表現できるものがあるかと思っておりますので、そこは検討させていただきます。</p>
委員長	<p>ありがとうございます。同じような見解から、前盛さんから何かコメントはありますでしょうか。</p>
委員	<p>我喜屋くんが一括して話してくれましたので。</p>
委員長	<p>ありがとうございます。今の我喜屋さんのご意見のとおり、リサイクルの問題と一般廃棄物処分の問題と、一部ごちゃ混ぜになっているところがありそうな</p>

発言者（敬称略）	発言内容
委員長	<p>ので、そこを明確に分けられないかなということ、ひとつの希望として出していただいたと思います。</p> <p>最終処分率という考え方で、資料2の18ページの最終処分率として、例えば国が9.5%、沖縄県6.0%と出ていますが、石垣市は11.8%でイメージとして約1割と我喜屋さんがおっしゃっていましたが、大体この数字に出ているのではないかと思います、それをどうしていくかという問題になりますが、この辺の問題の切り分けをもう少し分かりやすくするという意味で、リサイクルごみを抜いた部分で考えると、本当に最終処分に回る部分がどれくらいあるのか、何が回っているのかという部分で問題点がもう少し明確に浮き彫りになるかなと思います。</p> <p>それから、もうひとつ私のほうからご指摘したいことがあります。資料3の将来のごみ予測を出していますが、これは人口×原単位ですね。これには人口と1人当たりのごみ排出量の2つしかないですね。人口の中に幽霊人口も含まれるとか、宿泊客数も含めて1人当たりの原単位を出せば大体成り立つと思いますが、例えば今までの1人当たりのごみ排出量か総量を出す場合に独立変数として、人口の数字そのものだけではなく、観光客数や地域内の総生産数であるGDPに相当する、石垣市だけの域内総生産GRP（Gross Regional Product）の統計があれば、3つくらい独立変数を取って単位量で出すと言う方法もあります。実際にやってみたことがあります、人口よりもGRPの方が強く利くケースが出てきますので、単純な相関ではない部分をもう一回見てもらったほうが、将来ごみ量の推定には利いてくる可能性があります。少し難しい話になって申し訳ないですが、検討していただけたらと思います。もちろん、統計のないものを今から調べてということは大変なので、統計がある分について可能ならばお願いしたいと思います。先走って話しましたが、他にご意見がありますでしょうか。</p> <p>今回はあまり詳しくは検討しないと申しましたが、資料4の下水道にも不思議な統計がありますね。最後の図4.2ですが、なぜ29年度から急に下がるのだろうかと思慮ですけれども、これも何か理由がありますでしょうか。</p>
事務局	<p>年度によって数値の取り方などがいろいろあって、私も作りながら上がったり下がったりする部分があるなと思慮ながら、もう少し整合性を取らなければいけないなと考えておりますので、計画の素案に載せる時点ではきちんと整合性が取れた形にしたいと思慮します。</p>
委員長	<p>これは合いませんよね。その他にいかがでしょうか。</p>
委員	<p>よろしいでしょうか。今、資料4が出てきたので質問させてください。し尿処理の一元化は市の条例を変えるという資料1の部分で、し尿処理の一元化を推進していきますという文言がありますが、推進していきますが調査研究となっていますが、調査研究は終わっているはずではないでしょうか。来年には実際に動か</p>

発言者（敬称略）	発言内容
委員	ないといけないと思いますが、し尿処理施設はパンク状態なので、これはどうなっているのかなと。
事務局	これは資料何ページになりますか。
委員	すみません、資料1の2ページの下の部分の。
事務局	これは第4次石垣市総合計画ですでに策定されている文言になります。
委員	今後、後期に調査研究ということではないんですね。
事務局	そうですね。基本計画の資料を抜粋したのになりますので。
委員	これは去年、一昨年で終わっているのかなと。
事務局	はい、その通りです。これにつきましては下水道課長が詳しいと思いますが、
委員	環境課では、し尿処理場を管理しておりました。こちらにあるM I C S事業という
事務局	ことで、排水処理施設共同処理事業になりますけれど、これが今年4月に下水道課にし尿処理場の管理が移管され、むらづくり課からは農業集落排水事業が下水道課に移管しました。
	下水道事業に関しましては、国土交通省の事業ということで一元化されています。この事業は走っておりまして、今のし尿処理場は処理がなかなか上手くいかない、容量も狭いという問題がありますが、西処理区と連携を取りながら、徐々に課題を解決していきたいと考えております。前濱下水道課長はそういうことでよろしいでしょうか。よろしく申し上げます。
委員長	ありがとうございました。下水道課からはコメントはございますか。よろしいですか。
委員	まだ詳しく資料を読んでいませんが、少し資料がおかしい部分がありますね。
委員長	ありがとうございます。
委員長	すみません、確認だけですが、ごみ処理が年々増えていくということですが、平成28年度の数字がいったん下がっている部分がどういうことなのかという疑問と、石垣市でホテル等の開発が進んでいる地域があって、その開発によるごみの総出量が増えるものなのか、人口の中だけの考慮だけで済むものなのかがわからなかったなので、その2点について説明をお願いします。



発言者（敬称略）	発言内容
事務局	<p>まず、28年度の数値が下がっているということですが、事務局としては27年度に注目しており、26年度と比べて上がっている状況で、それに対して28年度が前年度に対して少し減っているという認識をしております。26年度程度に28年度は戻ったという形になっているであろうと考えております。しかし、それに関しましては環境課でも施設と話をしながら、状況の分析を行っていますが正確につかめていないという現状です。あくまで、入ってきた量を基に計量しながらの積み上げの数値になっておりますので、例えば台風等の災害が多ければ、草木類等のもえるごみも増えますし、そういう影響もあり、27年度は台風の接近も多くなったのに対し、28年度はそれほど来なかったということもありますので、考えられる要因としてはこういったものかなと考えております。</p>
事務局	<p>すみません、補足させていただきます。ごみの分別を市民の方々に協力していただいて、リサイクルできるものはリサイクルしていただいております。平成15年度からごみの有料化をしていますが、8ページの生活系のごみのデータを見ると事業系も取ります。これは説明のあった台風の部分と5種12種類の分別をしております。プラスチック容器にしても地元の量販店に協力していただいており、企業のご協力もあって生活系に関しても徐々にごみの量は減っているのかなと考えています。</p>
委員長	<p>どうもありがとうございます。確かに台風が1つ来ますと、状況によりますが酷い時には1万トンくらい出てしまうというケースがありますので、その辺は過去の例を調べてみたほうが良いかも知れないですね。ご指摘ありがとうございます。</p>
事務局	<p>すみません、もう1点の開発行為を将来の予測部分に含めるということについてですが、それを予測する推計や数値があれば活用できればと思っておりますが、本来は観光客や幽霊人口も含めて把握できる数値があれば、活用していきたいと思っております。</p>
委員	<p>過去にホテル建設の数値の実績があると思っておりますので、今後の部分についてもその数字とごみの量がどう動いているかによって推計について繋がると思っております。</p>
事務局	<p>確実にホテル等の宿泊施設や事業所のごみは入ってきているので、新しい事業所の建築率等の数値も活用できたらと思っております。</p>
委員長	<p>ありがとうございます。いろんな問題が出てきましたので、また考えることがあるかと思っております。これから資料作りをお願いいたします。その他いかがでし</p>

発言者（敬称略）	発言内容
委員長	ようか。
委員	よろしいでしょうか。ボランティア活動の漂着ごみの搬入も入って来ているから、その推移も影響する。最近、ボランティア活動をする方が増えている。個人的に活動する範囲内で搬入している影響もあるのではないかと。一般の家庭ではなく。
事務局	ありがとうございます。ボランティアのごみも施設に入ってくるごみ量に含んだ数値になっていますので、ボランティア活動の増加も影響しているあるかと思えます。ありがとうございます。
委員長	漂着ごみに関しては難しく考えると面倒くさいのですが、ボランティア活動として市民の皆さんがごみを集めると、一般廃棄物として処理します。これを業者に委託した場合、例えば石垣市や海岸管理者の県等が業者委託しますと、産業廃棄物扱いになります。そこがおかしな話で、ボランティア数が増えたとごみが増えると言う変な話になりますので、そこは真面目に考えていかないといけない部分になります。ありがとうございます。
委員	できたらデータの分析もしたほうが、家庭系ごみと事業系ごみ以外のごみの量の数値としてはっきりすると思う。
委員長	その他ございますか。
委員	すみません、少しよろしいでしょうか。資料1の30ページの表ですが、これは書き間違いですか。
事務局	こちらは資料の実態調査で報告のなされている数値ですが、現在の速報値として入れさせていただいております。下水道課長からのご指摘の通り精査しまして、26年度と27年度だけ自家処理が急に出てくるのもおかしいので、数値に関しては精査が必要だと思っております。
委員長	これは裏がありそうだったので質問しませんでした。どうもありがとうございます。よろしいでしょうか、それでは資料5に進みたいと思いますので、事務局は説明をお願いします。
事務局	事務局資料説明 <資料5>
委員長	ありがとうございました。資料5の説明をしていただきました。将来の取り組

発言者（敬称略）	発言内容
委員長	<p>みの展望を示したものになりますが、何かご意見・ご質問がありましたらお願いします。</p> <p>・・・多くの部分が予算の裏づけが必要になるということで、一朝一夕でできるものではありませんが、こういう方向で考えたいという方向性ですね。ソフト的にすぐできるものもあるかもしれませんが、なかなか難しいものもあるとご理解いただければと思います。よろしいでしょうか。</p>
委員	<p>ありがとうございます。資料5(3)④の焼却処理の検討が今回の委員会の中で一番大きい課題になるのかなと思います。最初に貰った資料の最終処分場の今後のあり方でも出てきております。施設を更新するのか、現処分場の延命化対策なのか、民間委託なのかという話で、埋立て物の掘り起こしが現実的なのかなと思い、質問させていただきます。掘り起こしをして焼却となった場合に、5種分別で市民の方に分別してもらっている部分についても、全部条例で変更していくのでしょうか。</p>
事務局	<p>市民の分別方法を変更していくかどうかについては、掘り起こしたものを島内のクリーンセンターで焼却処理をしていくのか、埋立て容量を大きくする事を優先して、後ほど説明させていただきますが、島外処理をする事もなくはないと思いますので、その間に施設を整備して、その後に一般市民が出すプラスチックも含めて焼却する体制を作るのか、いくつか方法があるかと思います。</p> <p>また、先ほど説明しました、ごみの分別方法が変わってからそれほど時間が経っていないということもあり、市民からしてみると「変わったばかりなのに、また変わるのか」という声も出てきそうですので、市民の方の協力が必要かなと思います。廃プラスチックを燃やすということになれば、分別方法の変更も遅かれ早かれ、時期を見ながら取り組みしていかなければならないかなと考えております。</p>
委員	<p>ありがとうございます。私たちが収集しているお客様からよく言われることですが、廃プラスチック容器を洗って、リサイクルするのもいいけど、水も資源ですし、単独浄化槽の割合が多いと思いますが、単独浄化槽の家庭で洗った水は全て海に流れていきますよね。それらを全体的に見ると、最初に取り組まないといけない喫緊の問題なのかなと思います。この問題も先延ばしにするのではなく、これに関しては、「これまでは洗っていたのにおかしいじゃないか」といった苦情は無いと思います。逆に「楽になった」という言葉しかないと思いますので、これも踏まえて、この委員会で進めていけたらなと思います。よろしくをお願いします。</p>
委員長	<p>確かに、これからどう動くかを委員会で大筋を決めていかなければいけません</p>

発言者（敬称略）	発言内容
委員	<p>ので、重要な課題をいただいている訳です。今いただいたご意見を含めまして、よく検討していきたいところです。特に分別収集の品目を変えるか、処理方法に手を加えるかという事になりますと、排水も当然係わってくる点も出てきますので、この辺りは鈴木さん、藤田さんも気になって聞いたのではないかと思いますけれども、何かコメントはございますか。</p> <p>私は専門外なので、理解するのも追いつくのも大変なんですけど、まずは全体的にごみを減らすという取り組みやごみの処理の方法について今後5年間考えることも大事ですが、ごみの分別の種類も含めて全体的に量を減らしていくということが大事な部分だと思いますが、もう1つは生活排水についても浄化槽の増加も含めてなんですけど、市全体の取り組みとして都市下水道の整備も含めた計画と併せた考え方が必要なのかなと。</p> <p>もう1つは話題が違うかも知れませんが、漂着ごみの増加とか具体的な対策を視野に入れた計画になればいいのかなと、素人考えですが気になったところです。</p>
委員	<p>私が普段の仕事に係わるところとしては、生活排水の行き先が海に流れいきます。石垣といえばサンゴ礁を見にたくさんの方が訪れますし、そういう意味でも生活排水の対策はすごく重要だと思います。</p> <p>事務局としては廃棄物処分場の計画がすごい重要な課題として考えていると思いますが、サンゴの白化が昨年から進んでいますけど、これは海水温が高いという理由ももちろんあると思いますが、陸からの排水も影響していると思いますので、今後のサンゴ礁のためにも、生活排水の対策という事で、浄化槽や下水道の整備もしっかり取り組んでいけるように、今後の見直しで入っていくのかなと感じています。</p>
委員長	<p>ありがとうございました。その他、資料5についてはよろしいでしょうか。今後は、こういう項目出しで進めていきますという事で、全部をやるとか、こうすればこのくらい効果があるとかという事よりも、項目出しという事で理解していただければと思います。その中で有効な方法を探して実施するものはする、しないものはしないという形になろうかと思います。</p> <p>今回の逼迫している話としては、最終処分場が足りませんという事で、そこをメインに考えていくことになっていきますが、関連する方向として排水の問題も当然係わってくるという事でご理解いただければと思います。</p> <p>先に進めてよろしいでしょうか。もう1つ追加資料があります。資料番号がついていないもので、一般廃棄物最終処分場の今後のあり方という事で、事務局からご説明をお願いします。</p>
事務局	<p>事務局資料説明 &lt;一般廃棄物最終処分場の今後のあり方&gt;</p>

発言者（敬称略）	発言内容
委員長	<p>どうもありがとうございました。ある意味、今回の委員会で喫緊の課題として回答を出さなければいけないという話です。これの回答を求めるために今の資料があったと考えても良いのかもしれませんが、最終処分場をこれからどうするかを3つ、あるいは4つの方向を考えていますという内容でした。これはこれから検討する内容ですので、意見はともかく疑問点がございましたら、お受けしたいと思いますが、いかがでしょうか。</p>
委員	<p>何度も申し訳ございません、失礼します。現状のペースで埋立て処分が進行すると4～5年程度とありますが、先ほど出ていたこれからの観光客の数値を150万人に設定するとか、現在大きなリゾート施設が5つほど申請されていますが、それも含めて4～5年ですか。現場を見ていると後2年持たないのではないかという感想ですが、よろしくお願ひします。</p>
事務局	<p>これは直近5年平均を活用した数値なので、あくまで実績を基に出しています。仰るとおり、それを上回る現状がありますので、事務局では5年あれば大丈夫とは考えておりません。現状は考えている以上にはるかに早いスピードで状況が変わっていますので、実際にはもっともっと短縮されるのが現実的かなと考えております。</p>
委員	<p>ありがとうございます。資格を取って勉強したので、もう1点確認したいのですが、最終覆土に関して、50cm以上とありますが現在の一般廃棄物処理計画の中で跡地利用の計画はありますか。</p>
事務局	<p>現時点での跡地利用は特に明記しておりません。他の市町村を見ていると、サッカー場や公園にする事例が多いです。この50cmは最低ですので、建物は難しいですが、低木を植える場合は50cmで大丈夫ですが、大きな木の場合は1.5m～2mは必要ですので、これは最低の基準に合わせた50cmとなっております。現時点での跡地利用については、明確には決まっていないです。</p>
委員	<p>ありがとうございます。説明の通り、サッカー場や公園の場合は50cmですが、木を植える場合では1m～1m50cmは必要となった場合に、50cm最終覆土をする予定で、7,600立米となっておりますが、これが2倍3倍となった場合にこの数字を越してしまうのではないかなと思います。これに関しては後1～2年で一杯だと思っけていまして、ずっと心配しているもので。</p>
事務局	<p>一杯になるギリギリではありますが、今回検討していただくものが最後のタイミングという言い方が良いのか分かりませんが、かなりギリギリに来ているなど事務局でも考えていますので、4～5年で安堵するわけではなくて、次の計画に足</p>

発言者（敬称略）	発言内容
事務局	<p>を一步進めるにも1年2年かかりますので、そう考えると、おっしゃるとおり厳しい現実の中で時間との戦いでもあるという事も認識しております。</p>
委員	<p>ありがとうございます。共通の認識を持って欲しかったのであえて質問させていただきました。ありがとうございます。</p>
委員長	<p>どうもありがとうございました。その他ご質問ありますでしょうか。これをしっかり議論する、それぞれの回を持ちますので、議論の時にお願いできたらと思います。</p> <p>それでは時間も来ておりますので、先に進めさせていただきます。次回の委員会で、オブザーバーとして参加を希望している、あるいは事務局からお願いしているケースがございますので、そのご説明をお願いします。</p>
事務局	<p>事務局より本委員会、設置要綱第8条に基づき、関係者の意見を聞くことができると定めておまして、より審議を深めていくために、2名のオブザーバーの出席を提案させていただきたいと思っております。</p> <p>まず1人目ですが、NPO法人沖縄新事業支援機構 理事長 嘉数博仁様。2人目に有限会社サキシマリサイクルプラザの当銘正則様です。</p> <p>嘉数博仁様はNPO法人の中で石垣島の魅力を発信すると共に、市民団体と協力してのビーチクリーン等を積極的に活動しているという観点から、先ほど委員の皆様からありましたけれども、ボランティア活動や漂着ごみの現状などを含めた意見をいただきたく、推薦したいと思っております。</p> <p>2人目の当銘正則様は現役の中間処理業者として、島内の廃棄物行政に精通しているという事と、過去に最終処分場の維持管理運営の業務委託も行っておりましたので、施設の受け入れる側を深く知っているという事もありますので、2名の方を第2回の検討委員会からオブザーバーとして出席を求めたく、事務局よりご提案させていただきます。</p> <p>ただし、オブザーバーについては、議事に関する議論の参加を考えておりますけれども、採決の際には参加できないということで申し添えてご提案させていただければと思います。</p>
委員長	<p>ありがとうございました。事務局からご提案のありましたオブザーバーに関しまして、次回からご出席いただくという事でよろしいでしょうか。ご異論ございませんね。それでは次回からお越しいただけるように事務局からの手配をお願いします。</p> <p>続いて、次回の日程の提案をお願いできますか。</p>
事務局	<p>はい、事務局の委員会日程ですが平成29年12月5日(火)の同じ時間帯の午後</p>

